

【第6回アフリカ開発会議サイドイベント】

Universal Health Coverage (UHC) in Africa

国際協力機構（JICA）は、8月26日、ナイロビのケニヤッタ国際会議場にて、第6回アフリカ開発会議サイドイベントとして、ケニア政府、日本政府、世界銀行、世界保健機関（WHO）、グローバルファンド、アフリカ連合委員会（AUC）との共催により「Universal Health Coverage (UHC) in Africa」を開催しました。本イベントには安倍晋三首相、ケニアのウイリアム・ルト副大統領、セネガルのマッキー・サル大統領、エチオピアのテドロス・アダノム外務大臣、世界銀行のジム・ヨン・キム総裁、WHOのマーガレット・チャン事務局長、グローバルファンドのマーク・ダイブル事務局長、アフリカ開発銀行のアキンウミ・アデシナ総裁、塩崎恭久厚生労働大臣に加え、多くのアフリカ閣僚その他要人が参加し、アフリカにおけるUHCの実現に向けてハイレベルでのコミットメントを確認しました。

ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）とは、「世界中のすべての人が生涯を通じて必要な時に適切な保健・医療サービスを負担可能な費用で受けられる」状態を指し、持続可能な開発目標（SDGs）の中でもターゲットの1つと位置づけられています。アフリカ諸国では、著しい経済成長を遂げる一方で、毎年1,100万人が、医療費による家計破綻を経験しています。また、国内の健康格差が拡大している他、2014年以降のエボラ出血熱の流行では、健康危機への備え・迅速な対応の重要性が再認識されました。本サイドイベントは、これらの課題を解決しつつ、アフリカ諸国のUHC実現に向けた取り組みを加速させることを目的に企画されました。

本イベントには、各国首脳を含むアフリカ諸国、市民社会、国際機関、日本政府等から各国首脳を含む約250名が参加しました。イベント冒頭、ケニアのルト副大統領は日本のUHC支援への感謝を述べ、地方分権化の中で貧困層への健康保険補填拡大などに強いリーダーシップを発揮していくことを表明した他、グローバルファンドへの500万ドルの拠出を表明しました。安倍首相は、伊勢志摩サミットが初めてUHCを主要議題として取り上げたG7であったことを紹介した上で、エボラ出血熱の蔓延を受けての平時からの感染症危機への予防・備えとそのため強靱な保健システム構築の重要性や、ケニア、ガーナ等で過去40年にわたり支援してきた感染症研究・対策の拠点のネットワーク化を通じたパンデミック対応力のさらなる強化に取り組むことに言及しました。その後、セネガルのサル大統領が保健サービス拡大や人材育成の必要性に、エチオピアのテドロス外務大臣がハイレマリアム・デサレン首相の代理として包摂性と国内の資金動員の重要性にそれぞれ触れながら、各国でのUHCの実現に向けた取り組み強化につき決意を述べました。

首脳級スピーチと併せ、北岡伸一 JICA 理事長がモデレーターとして登壇し、世界銀行のキム総裁、WHO のチャン事務局長、グローバルファンドのダイブル事務局長、アフリカ開発銀行アデシナ総裁といった開発機関のトップが、アフリカにおける UHC の実現に向けた取り組みについて意見や決意を述べました。

その後、塩崎厚生労働大臣によるアフリカにおける UHC 実現に向けた日本の支援に関するスピーチに続き、世銀のオルソジ・アデイ保健・人口・栄養局局長より、共催者がまとめた「アフリカにおける UHC 実現に向けた政策枠組み」が発表されました。その後、マツヒディソ・モエティ WHO アフリカ地域事務所長の司会により、ケニア、ガーナ、エチオピア及びコートジボワールの閣僚らおよび市民社会組織（CSO）の代表として Amref Health Africa のギティンジ・ギタヒ代表が、資金の確保、サービスの拡大、市民社会との協働等、各国での UHC の取り組みについて紹介すると共に、各国の課題について意見を交わしました。

JICA は「政策枠組み」を踏まえ、UHC 実現に向けたアフリカ諸国の取り組みを更に強化すべく、パートナーと連携しながら、医療保障、サービスの拡大、健康危機への準備態勢の強化に包括的に取り組み、アフリカにおける UHC 実現を目指した協力を継続していきます。

■本イベントの登壇者

第 1 部

【国家首脳級による基調スピーチ】

- ・ウイリアム・ルト ケニア副大統領
- ・安倍晋三 内閣総理大臣
- ・テドロス・アダノム エチオピア外務大臣
- ・マッキー・サル セネガル大統領

【各機関代表コメント】

- ・ジム・ヨン・キム 世界銀行総裁
- ・マーガレット・チャン WHO 事務局長
- ・マーク・ダイブル グローバルファンド事務局長
- ・アキンウミ・アデシナ アフリカ開発銀行総裁

第 2 部

【UHC in Africa に対する日本の支援】

- ・塩崎恭久 厚生労働大臣

【UHC in Africa 行動枠組の発表】

- ・オルソジ・アデイ 世界銀行保健・人口・栄養局長

【ラウンドテーブル】

- ・ニコラス・ムラグリ ケニア保健省次官
- ・アレクサンダー・セグベフィア ガーナ保健大臣

- ・ テドロス・アダノム エチオピア外務大臣
- ・ レイモンド・グドゥ・コフィー コートジボアール保健大臣
- ・ ギティンジ・ギタヒ Amref Africa 代表

【閉会挨拶】

- ・ ムスタパ・シディキ・カロコ アフリカ開発委員会社会セクターコミッショナー

【第1部司会】

- ・ クレオパ・マイル ケニア保健省長官
- ・ 北岡伸一 JICA 理事長

【第2部司会】

- ・ マツヒディソ・モエティ WHO アフリカ地域事務所 事務局長



スピーチをする安倍晋三首相



モデレーターの北岡伸一 JICA 理事長